

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	薬剤により誘導される過渡的構造を基盤としたキナーゼ阻害薬活用研究
代表機関名	国立研究開発法人国立がん研究センター
研究開発代表者名	河野 隆志
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065844.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、分子動力学シミュレーション解析という新たなアプローチで、複雑ながん関連遺伝子の変異と薬剤耐性メカニズムを解明する手法を確立したユニークな研究であり評価できる。

今後、新たな *in silico* 選別法については、迅速判断が要求される医療現場で汎用・活用されるようになることを期待する。さらに、新規の薬剤や耐性患者に対する薬剤の創薬に発展させていくよう継続して進めて頂きたい。

以上